

Integrity委員会 TV向けストーリーシグWG 2022年度活動報告

2023年1月25日

IDEMA JAPAN Integrity委員会

氏名 清水 亮輔（ミカサ商事株式会社）

IDEMA[®]
JAPAN

テーマ候補案：TV向けストレージの設計・取り扱いガイドラインの策定

テーマ起案の背景

1. Android TV Fire TV 及び Linux TV を対象として、ストレージ（外付けUSB-HDD、将来的にはSSDも）の設計・取り扱いガイドライン（TV録画、静止画、動画にまつわる取り扱い指針）の策定
2. 4K録画対応のSQV2（SeeQVault）もScopeとする
3. SMR-HDDもScopeとする
4. TV録画USB-HDD評価方法の改善 & 互換性確認方法の改善

課題 メーカー：容量一杯番組録画し、全て再生する間、フレームドロップ/ブラックアウトが発生しないか？目視チェック
⇒余りにも非効率的作業であり要改善

ユーザ：カタログ/ネットでのTV・USB-HDD互換性対応表確認方法はあるも、分かりにくい

- 提案**
- ①USB-HDDを用いたTV録画に対して有効な評価ツールを検討し、セット&デバイス間での運用可能性を探る
 - ②セット&デバイス間での互換性確保の証としてのIDEMA推奨マーク：ロゴ運用を目指す

進め方

- ①IDEMA Integrity : Storage Solution分科会：TVストレージWGにて評価方法／推奨マーク・ロゴの方向付け
- ②有力TVメーカー／レコーダメーカーと相談し、具体的な導入・運用議論、方向付け
- ③2024年度での市場導入を目指す

活動状況

1. 参加USB-HDDメーカー：IOデータ、エレコム、ロジテック

2. ホストメーカーとの議論

- ・1社ずつ議論する（本音の議論が出来る様に）
- ・リーダーシップを発揮して頂けるホストメーカーがあれば、そこをテコに！

3. 互換性確認方法の改善：IDEMA TV録画USB-HDD 評価規格準拠 ロゴ(案)

現状：カタログ/ネットでのTV録画用ハードディスク対応表
の確認/チェックあるも、分かりにさ有り

example

メリット：TV録画用USB-HDDの互換性対応マーク
による容易な互換性確認
⇒エンドユーザ向けのプロモーションが容易



1. 第1回 10/19：USB-HDDメーカーの議論と方向付け

- ・IOデータ/エレコム/ロジテックの意見が一致し、ホストメーカーとの議論とのステップへ

2. 第2回 10/28：1stセットメーカーとの議論

- ・IDEMA提案の“TV録画USB-HDD評価方法”についてのセット側の設計見解は、HDDのコマンド実行時間測定型テストは、USB-HDDのHDDとしての性能・品質確認という領域までであって、ホスト（セット）側のHDD録再機能全てを保証する事は無理と考える。

3. 第3回 12/26：USB-HDDメーカーでの議論と方向付け

- ・レコーダの場合は、外付けUSB-HDDに高機能を求める為上記見解となるので、TV録画USB-HDD評価方法のScopeを変更し、
 - ①アプリケーションに関し、需要の殆どを占めるTVセットからのTV番組録画に絞る事
 - ②IDEMA推奨TV録画USB-HDDロゴマークの効果的な運用ができる案を検討

注：現在ネット上でTVとTV録画USB-HDDの互換性について開示しているが一般の方には分かりにくい。ロゴ運用ができれば、かなり分かり易くなる
- ・上記視点に立って、議論可能なTVメーカーを探ってみる

The background of the slide is a dark blue field filled with a complex network of glowing light blue lines and nodes. The nodes are small, bright blue dots, and the lines are thin, connecting these nodes in a web-like pattern that suggests a digital or neural network. The overall effect is one of connectivity and technology.

Thank you